



鈴鹿の風

2010.9

第10号

「独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院」ニュース

<病院理念>

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。



撮影：小長谷院長「アブハンブラ宮殿にて」

Contents

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1 ■ ごあいさつ
News | 新型インフルエンザから1年
障害者専用駐車場ができました |
| 2 ■ トピックス① | 地域医療連携室のお仕事 |
| 3 ■ トピックス②
医局短信 | どっしりとした中央病棟／新しいリハビリ室になって
小児科 |
| 4 ■ 看護だより
平成オタクコラム | 新病棟(中央病棟)での日常生活
プロ野球編3 |
| 5 ■ 療育通信 | |
| 6 ■ 新任者紹介 | |
| 7 ■ 外来診察担当表／交通案内／編集後記 | |

新型インフルエンザから1年

国立病院機構 鈴鹿病院長 小長谷 正明

院内感染という言葉があります。病院内で伝染病が患者さんや職員に流行ることです。私が病院長になったばかりの頃、ある病棟で次々と発熱したことがあります。亡くなった方はでませんでしたが、発熱患者を隔離する部屋すらない古い病棟だったので、とうとうほとんどの患者さんがインフルエンザに罹ってしまいました。で、なんとしても全ての病棟を近代化しなければいけないと思ったものです。この春、新中央病棟が完成し、このような時の対応もとりやすくなりました。

昨年は新型インフルエンザで、日本中が右往左往しました。5月早々には当院にも要請があり、医師1人と看護師2人を中部国際空港に派遣し、後日厚生労働大臣名で感謝状が届きました。学級閉鎖の学校が相次ぎ、日本中の薬店でマスクが品切れになってしまいました。秋には、国立病院機構病院の職員を被検者として、一般接種前のワクチンの副作用調査があり、当院でも多くの職員が参加しました。また、難病や障害者や患者の皆さんにも早くより十分なワクチンを確保してスムーズに接種できて、一番恐れていた院内感染も起こりませんでした。

幸いにも、新型インフルエンザは日本では大流行せず、死亡率も人口10万人あたり0.15と、アメリカの3.96より桁違いに低かったです。日本人はパラノイア(偏執症)だとアメリカのメディアに皮肉られたようですが、結果が証明しています。わが鈴鹿病院職員の検疫業務も、ワクチン副作用調査のモルモット業務も、決して無駄ではなかったと思います。

今年の前半は、宮崎県での口蹄疫対策の流行防止に関係機関が躍起になっていました。これはウシやブタ等の家畜の伝染病ですので、思い切った殺処分ができたのですが、ヒトでは論外です。秩序だったワクチン接種や社会の防疫体制が必要です。

天災は忘れた頃にやってくると言いますが、流行病もそうかもしれません。今なお、鳥インフルエンザから変異した強力な別の新型インフルエンザ流行の懸念は去っていません。あって欲しくはありませんが、その際は去年の経験がきっと生かされるでしょう。

News

障害者専用駐車場ができました!



新病棟の近くに障害者専用駐車場ができました。屋根付きで広く、使用しやすいスペースです。また広い駐車場もあります。どうぞご利用ください。

トピックス①

地域医療連携室のお仕事

地域医療連携係長 渡邊 三千代

平成20年1月の鈴鹿の風第2号に地域医療連携室の紹介をさせていただきました。平成21年度より医療社会事業専門員が2名となり、平成22年4月には看護師長が配置され、お部屋も少し広くなりました。2人の若い医療社会事業専門員とアットホームな雰囲気でお仕事をしています。

そこで今回は、地域医療連携室の役割と業務についてご紹介します。

【地域医療連携室の役割】

- ①関係機関との地域医療連携に関する連絡調整
- ②院内外紹介業務の連絡調整
- ③医療福祉相談における患者対応
- ④在宅療養に向けての退院調整
- ⑤地域連携に関する広報活動
- ⑥その他地域連携に関する事業の実施



乾

隠岐

渡邊

【地域医療連携室の業務】

- ①各神経難病などの病態・標準的治療法など・診療に係る一般的な医療情報の提供
- ②地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集・紹介
 - ・医療機関の診療機能、長期入院の待ち時間調整
 - ・医療従事者の専門とする分野・診療担当医に関する情報
- ③患者の療養上の相談
- ④患者、地域の医療機関、かかりつけ医(特に紹介元・紹介先の医師)など対象とした情報交換
- ⑤各地域におけるかかりつけ医など各医療機関との連携事例に関する情報収集と紹介
- ⑥入退院調整(患者及び家族)
- ⑦その他、相談支援に関すること

私たち3人は、病棟訪問などにより主治医や病棟スタッフと情報交換しながら、患者さんの「帰りたい」気持ちを引き出すような関わり、援助をして行きたいと考えています。また、入院患者さんの療養上の相談や外来患者さんの医療福祉相談にも対応していきます。筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病分野での専門医療を提供する鈴鹿病院の顔として地域医療連携室がさらに充実するように努力していきますので皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

今後「地域医療連携室便り」として、活動の様子などをお知らせしていきますので、ご活用ください。

トピックス②

どっしりとした中央病棟



企画課専門職 森谷 長

2月末、待望の新病棟が完成しました。その新病棟が完成する前の事です、所用で鈴鹿市庁舎を訪れた際、展望ルームから鈴鹿病院を見てみると、何と、白い大きな建物(実際は薄いピンクです)がはっきりと見えるではありませんか。「やっぱり新病棟はデカイな!」と感心しつつ、そう言えば新病棟の建設現場に、タワーの長さが70m以上にもなるクローラクレーンが動いていたのを思い出し、新病棟である大きさなら、鈴鹿市庁舎建設時はどうであったのかと興味を引かれた事がありました。そんな市庁舎ほど背丈は大きくありませんが、横にどっしり構えた自慢の新病棟、それが中央病棟です。



2F デイルーム



1F EVホール

1F 北側廊下

新しいリハビリ室になって



新リハビリ室



新作業療法室

新物理療法室

リハビリテーション科 運動療法主任 白石 弘樹

平成22年3月に新しいリハビリ室へお引越しを行い、以前のリハビリ室の前を通るとき、ふと最近懐かしさを思うようになります。僕が4年前の3月に転勤してきて、初めて主任となった当時、理学療法士2名・作業療法士1名・マッサージ師1名だったのが、今では理学療法士4名・作業療法士3名・言語聴覚士1名・マッサージ師1名の計9名となりました。新しいリハビリ室では、緑色の落ち着いた色を壁や床に配色し、リハビリ用ベッドの数も増え、また、リハビリ室やリハビリ室の中にある言語聴覚室の窓からは鈴鹿の町並みが展望でき、落ち着いて訓練を受けることができます。今後もリハビリスタッフはより一層リハビリ技術の向上とサービスを目指しががんばります!

医局短信 ～小児科～ 小児科部長 村田 博昭

小児科は重症心身障害を担当しています。具体的には重症心身障害児(者)の長期入院、在宅支援として短期入所、日中一時支援、通園事業を実施しています。重症心身障害とは重度の脳性麻痺と精神発達遅滞を合併していることですが、呼吸器系、消化器系など全身に様々な合併症を認めることが多いため、神経領域を含めた広い領域での医療を必要とします。もともと一般小児科医は全身をみることに慣れていますが、その意味では小児科医が担当するのが適していると言えます。しかしながら昨今の小児科医不足の影響から、以前は小児科医3～4人で担当していたのが、現在は小児科医は1人のみになってしまいました。一方、現在入院されている患者さんの多くが成人となり、加齢に伴う病状の変化など小児科医のみでは対応が難しい状況もみられるようになってきたことから、現在は内科、皮膚科、整形外科の医師と共同して担当しています。

中央病棟(新病棟)での日常生活

西1病棟 副看護師長 名村 誠子

新病棟での療養生活は期待と不安の毎日ですが、新しい療養環境にも少しずつ慣れ、落ち着いた生活ができるようになりました。今回は中央病棟での新生活の様子を紹介します。

<1階～筋ジストロフィー病棟>

朝の洗面は高さ調整の出来る洗面台で使いやすくなり、臥床のまま使用できるステージトイレはスペースがあり快適です。病室も広くなり自由にテレビ鑑賞したり、ベッド上でパソコンを操作し、最新情報を知る事で、自分の空間が広がります。明るく広いダイナーでは、人工呼吸器を装着しながら、1つのテーブルを3～5名で囲み、楽しく会話しながらの食事です。廊下は3mと広く、東西病棟への車椅子移動がスムーズになり、離れていた3つの病棟の療養仲間との交流も深めやすくなりました。これからはスタッフも、患者さんとゆっくりかかわる時間を、大切にしていきます。



ホールでの食事風景(筋ジス病棟)

<2階～重症心身障害病棟>

病室は4人部屋で、全員がベッドでの生活となりました。以前の複雑な部屋が清潔感あふれる環境に変化し、自分の居場所で、静かな時間を過ごす事もできます。仲間は60人で、ダイナーの大画面テレビを観たり、食事をします。大きく変化した事は入浴です。寝たまま浴槽まで移動し、入浴できるエレベーターバスは安全で安楽です。状況に合わせてバブルも使用でき、今では入浴が楽しみの1つになりました。今後も環境の変化に患者さんが戸惑うことなく、日々笑顔がみられるような快適な日常生活が送れるように、QOLの向上を目指します。

平成オタクコラム プロ野球編3 神経内科部長 久留 聡

最近のプロ野球のファンサービスの一つに復刻ユニホームがある。埼玉西武ライオンズの選手が、前身の太平洋クラブやクラウンライターのユニホームを着てプレーをするのである。この頃のライオンズは本当にダメダメなチームであった。大リーグの名物監督を招聘して話題づくりをしたまではいいけれどドタキャンされたり、鳴り物入りで入団した元本壘打王の大リーガーも結局は開幕1試合に出ただけで帰ってしまうなど、情けないことこの上ないお荷物球団であった。それでも昭和50年のシーズンは闘将江藤慎一をプレーイングマネージャーに迎え、土井正博が本壘打王、白仁天が首位打者、東尾修が最多勝を取るなどの活躍をみせて、勝率5割には届かなかったものの、三位に食い込む大健闘をみせた。個性的なメンバーを揃えた打線は山賊打線の異名を取った。実は、筆者がはじめてプロ野球を生で観戦したのは、この年の夏休み西宮球場で行われた阪急対太平洋クラブのダブルヘッダー第1戦なのである。この試合は左腕の安木が先発し、エースの東尾がリリースで登板し、打撃戦を制して勝利をおさめている。まだ控えであった真弓明信(現阪神監督)も代打で登場した。しかし、この年以降は再び低迷し、クラウンライターを経て、西武へ身売りされることになる。結構無謀なトレードも多く、西鉄から西武まで生え抜きとして活躍できたのは東尾と大田卓司ぐらいであったのがファンとして寂しい限りであった。因みに、西武球団創設時に真弓、若菜、竹之内との複数トレードでライオンズに移籍したのが田淵幸一である。他にもロッテの山崎裕之、晩年の野村克也など有名選手をかき集めたが、優勝を争うチームになるまでにはさらに2年、広岡監督の就任まで待たねばならなかった。

療育通信

療育指導室長 愛田 弘美

新しい病棟(3階)での7月28日に行われた夏祭りと毎週火・木曜日に東・西1階病棟で行っている合同療育の様子を報告します。

【夏祭り】



ホスピタルクラウン
あんこさんと院長の
ツーショット



塚本シスターズの
サクソ演奏を
楽しみました



東2階病棟の職員によさこいうらじゃです

【合同療育】



合同療育で伊勢型紙やスキルスクリーンの活動を行っています



ボランティアさんが絵本を読み聞かせてくれます



ボランティアグループ「スマイル」の
支援で七宝焼活動です



みんなで通信カラオケを楽しんでいます



(スヌーズレンルーム)

新任者紹介



内科医長
棚橋 保

本年4月より当院に勤務させて戴いております棚橋です。専門は循環器内科一般です。鈴鹿病院は重心や神経難病患者を主体とした政策医療に重きを置く病院だと聞いてはいたのですが、来てみてそのレベルの高さに驚きました。私も皆さんの足を引っ張らないよう頑張っていきたいと思えます。ちょうど新病棟に移転したこのタイミングに当院に赴任できたというのは私にとってとても幸運だったと考えています。加えて、スタッフの方々も皆さん明るくて元気が良く、一緒に仕事をしているとこちらまでエネルギーが沸いてくる様な錯覚(?)におちいります。ハードの面でもソフトの面でもこの様な良い環境で仕事ができる事に対して感謝しております。

私自身まだ不慣れなこともあり、いろいろご迷惑をおかけする事もあろうかと思えますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。



研究検査科 臨床検査技師長
森田 正道

4月より検査科技師長として当院に勤務させていただいています。緑に囲まれた中に真新しく完成した中央病棟、その淡いピンクの外壁が鮮やかに映ってまいりました。

当院の特色である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野で専門医療を提供します。研究検査科は、チーム医療の一員として患者様の症状や病状の把握に努め信頼性の向上と速やかな情報提供を行い良い医療を目指しています。

これからも検査科スタッフを始め、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



診療放射線技師長
東山 隆志

本年4月より診療放射線技師長として名古屋医療センターより参りました東山(とうやま)です。

出身は日本一暑い岐阜県多治見市です。赴任して早々、小長谷院長先生に直接名前前で呼んでいただいた事に非常に感激しており、鈴鹿病院の一員になったと思っております。これからも病院の発展に貢献できるよう邁進していく所存ですので宜しくお願い致します。



副総看護師長
山口 よね子

赴任して思ったことは、神経難病・筋ジス・重症心身障害児(者)と専門性が高いため、看護の難しさをイメージしていましたが、弾んだ会話が聞こえ明るい雰囲気驚きを覚えました。

そして、看護の理念である一人ひとりの「生活の質」や「ぬくもり」と「安心」の看護という表現に感動し、このような看護を職員と共にめざしたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い致します。



療育指導室 保育主任
蒔田 千里

今年の4月より主任保育士を命ぜられました蒔田です。

今までは自分が勤務する病棟のことを中心に考えて療育活動を行ってききましたが、今後は療育指導室としての療育活動ということをお念頭におき、他職種と連携をとりながら、患者様のQOLの向上に取り組めるよう務めていきたいと思えます。宜しくお願い致します。



算定・病歴係長
松村 民幸

本年4月より、算定・病歴係長として豊橋医療センターより赴任して参りました。

鈴鹿は豊橋に似て、自然豊かでも住みやすく、親しみを感じます。

一日でも早く複雑な診療報酬を理解し、貢献できるよう努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

外来診察担当表 (2010年9月1日 現在)

	月	火	水	木	金
神経内科	小長谷	酒井	松本	小長谷	久留
内科 (循環器科)	奥村 (循環器)	木村	安間 (循環器)	安間 (循環器)	棚橋 (循環器)
小児科	予約	予約	予約	予約	予約
整形外科		田中(信) 午後(装具)			田中(信)
リハビリテーション科					田中(信)
歯科	野口(佳)		松村	田中(宏)	
皮膚科		武市			

- ◆ 外来受付は8:30～11:00、診療開始は9:00～です。
- ◆ 歯科は身体障害者の方に限ります。
- ◆ 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越し下さい)。
- ◆ 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約下さい。
- ◆ 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。



交通案内

- ◆ JR「加佐登」駅より徒歩8分
- ◆ 東名阪「鈴鹿」J.C.より車8分
- ◆ 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- ◆ 三交バス(荒神山口行き/椿大神社行き)
「加佐登神社前」下車すぐ
- ◆ 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ

◆ 発行

平成22年9月
独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院
 〒513-8501
 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号
 Tel. 059-378-1321(代)
 Fax. 059-378-7083
<http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

編集後記

暑い暑い夏が終わり初秋を迎えました。旧病棟はすっかり整備され駐車場に生まれ変わりました。今後、管理診療棟・神経難病病棟の工事が予定されています。鈴鹿病院が更に新しく生まれ変わる日を期待します。(渡邊 三千代)

※写真は本人の許可の下、掲載しております。

